

海津市教育委員会では、2020年4月に小学校1年生となるお子さんで、細かな教育的配慮が必要と思われるお子さんについて、相談をお受けいたします。

また、お話を伺いながら、必要に応じて、医師・発達支援センター等の専門的な立場の方とも、一緒に支援の方法を考えていきます。

海津市教育委員会 学校教育課 教育支援担当 ☎ 53-1498

教育研究所 教育相談担当 ☎ 53-1499

◎就学にかかわって ※就学（学校に通う年齢に到達し、学校に通い始めること）

（1）各園・学校での取り組み

各園や学校には、「園・校内教育支援委員会」が設けられており、教育的な配慮が必要なお子さんについて話し合います。

- ・教育的配慮が必要なお子さんの日常の様子（生活面・学習面）について確認し合い、今後の支援について話し合います。

【構成メンバー（小中学校の例）】

校長、教頭、教務主任、生徒指導主事、特別支援教育コーディネーター、特別支援教育主任、養護教諭、該当学年主任・担任等

- ・保護者の方との話し合いを通して、お子さんにとって一番ふさわしいと思われる就学先を共に考えます。

（2）海津市における取り組み

海津市には、「海津市教育支援委員会」（事務局は教育委員会学校教育課）が設けられています。市内各園・学校より示される、教育的配慮が必要であるお子さんについて、様々な観点から、お子さんの発達状況を踏まえて協議・検討し、通常の学級・特別支援学級・特別支援学校などの就学先を考えます。

この会で、話し合われた内容について、園や学校を通じて該当するお子さんの保護者宛にお知らせします。

【構成メンバー】

- ・学校医、専門医、小中学校長代表、保育園長代表、こども園・幼稚園長代表、海津特別支援学校代表、西濃子ども相談センター代表、児童発達支援事業所代表、発達支援センター代表、各校特別支援学級担当教諭代表等

◎就学先の特徴

*通常の学級

大きな集団で学びます。一斉指導が中心となります。言葉の遅れのある子、多動性・衝動性のある子等については、必要に応じて保護者の送迎により、週1回～3回ほど個別で学ぶ通級指導教室を利用することもできます。

【2019年度 市内の通級指導教室】

高須小・・・言語通級指導教室

高須小、城山小・・・LD、ADHD等通級指導教室

（学習障がい、不注意、多動等）

*特別支援学級

地域の学校に設置されており、知的、自閉症・情緒があります。
学級は少人数で個別の指導計画にそって学習を進めます。

【2019年度 市内の特別支援学級】

- 高須小（知的）、吉里小（自閉症・情緒）
 - 今尾小（知的、自閉症・情緒）、海西小（知的）
 - 石津小（知的）、城山小（知的、自閉症・情緒）、下多度小（知的）
 - 日新中（知的、自閉症・情緒）、平田中（知的）
 - 城南中（知的、自閉症・情緒）
- 学校によっては、特別支援学級が設置されていない学校がありますので、他校区への入級もあります。

*特別支援学校…専門性が高く、個々に合わせたきめ細かな指導をしています。
市内には県立海津特別支援学校があります。

◎就学先が決定するまでの流れ（今年度の日程計画）

月		園・小中学校	海津市教育委員会
4月		(相談)	園長会・校長会で今年度の就学についての年間計画の説明
5月	下旬	↓	【第1回教育支援委員会】 ・就学についての方向性を確認する。
6月	上旬 中旬		巡回相談（各園） 活動参観、園長・担任との懇談
	下旬	(相談)	教育支援委員会担当者会①
7月		↓	☆就学相談
8月			
9月	初旬		
10月	中旬 下旬	小学校就学時健康診断 園内・校内教育支援委員会②	教育支援委員会担当者会②
11月	上旬	(相談)	【第2回教育支援導委員会】 ・お子さんにとって適した就学先を考え通知する。
		就学指導・入級のすすめ	☆就学相談 決定
12月	上旬 下旬	(相談)	特別支援学校入学手続き
1月	下旬	↓	入学通知書発送
2月	上旬		
4月			☆就学相談の継続

<保護者の方へ>

- 日常的に、園・学校生活の様子を把握し、担任との情報交流を、密にしてください。
- 実際に特別支援学級・特別支援学校を見学し、説明を聞きましよう。（見学は園を通して申し込んで下さい。）

<保護者の方へ>

- 委員会としての検討結果をお知らせします。同意される場合は、申請書を提出下さい。（園を通して教育委員会に提出）